

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち			
	4 身近な学びと交流があるまちづくり			
施策名	(1) ライフステージに応じた学びと交流の推進			
施策コード	1-4-1	施策構成	10 事務事業	決算額 574,273 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	身近に学びの機会があると思う町民の割合	%
②	客観指標	粕屋町立図書館の来館者数(社会教育課)	人/年
③	客観指標	粕屋町立生涯学習センターの利用者数(社会教育課)	人/年
④	客観指標	粕屋町総合体育館の利用者数(社会教育課)	人/年

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	29.3	28.3	38.0	36.7	36.4	—	↗	—		
②	205,251	190,471	193,162	195,631	183,744	110,862	250,000	0%		
③	229,720	216,592	226,384	205,866	173,938	104,654	250,000	0%		
④	240,294	248,919	237,084	215,378	207,495	96,986	250,000	0%		

■施策における総括

前年度までの課題	各施設の事業については、新型コロナウイルス感染症対策により利用人数の規制を設けなければならないため、従来の事業だけではなく、感染対策により活動縮小を余儀なくされている団体等と連携した自主事業が求められる。また、町の文化芸術を衰退させないため、各団体の活動発表の周知化など、サークル活動への加入促進に向けた情報発信も新たに創出する。
今年度の取り組み(成果、効果)	各施設の事業については、コロナ禍による緊急事態宣言等で臨時休館や利用制限を行ったため、計画していたイベントや講座等が中止となり、利用者は減少した。社会教育の推進のため、広報活動、代替事業の実施や施設設備の更新を行った。
次年度以降に改善すべき課題	新型コロナウイルス感染症対策のためイベント等の中止や施設の利用制限を行ったことにより、町民の学習機会の減少が懸念される。感染症対策に取り組みながら、実行可能な事業を進め、町民の学習意欲の向上に努める。また、安全で安心できる施設の運営のため、粕屋町公共施設等個別施設計画に基づき、施設の長寿命化を行う。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	① 着実に取り組まれており評価できる。		① 計画以上に進んでいる。
○	② 取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	② 計画どおり順調に進んでいる。
	③ 取り組みが不十分であり対策が必要である。		③ 進んではいるが、スピードが遅い。
	④ 取り組みがなされていない。		④ 進捗が見られない、または後退している。